

## 仕様書

### I 一般仕様

1. 件 名 令和8年度 液体窒素C E 製造設備点検作業

#### 2. 目 的

本仕様書は、量子科学技術研究開発機構（以下、「QST」という）高崎量子技術基盤研究所に設置してある液体窒素C E 製造設備の点検業務について、受注者に請け負わせるための仕様書を定めたものである。

受注者は対象設備の構造、取扱方法、関係法令等を十分理解し、受注者の責任と負担において計画立案し、巡視点検業務を実施するものとする。

3. 契約期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日

#### 4. 作業期間及び作業時間

(1)作業期間：令和8年4月1日から令和9年3月31日

(2)作業時間：原則として、次の時間帯に実施する。

8：00～18：30

5. 履行場所 群馬県高崎市綿貫町1233番地

（作業場所） 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

高崎量子技術基盤研究所

液体窒素C E 製造設備（LNT-1R310-768、LNT-2R310-773、LT-3）

#### 6. 対象設備

型式番号	ガス名	最大貯蔵量	貯蔵設計圧力	型式	能力
LNT-1 R310-768	液化窒素	2,900 L 2,108 kg	9.5kg/cm <sup>2</sup>	空温式	40 m <sup>3</sup> /h
LNT-2 R310-773	液化窒素	2,900 L 2,108 kg	9.5kg/cm <sup>2</sup>	空温式	40 m <sup>3</sup> /h
LT-3	液化窒素	2,800 L 2,520kg	1.0+0.1013 MPa	縦置円筒型貯槽 真空断熱二重構造	30 m <sup>3</sup> /Hr

#### 7. 業務内容（詳細はII技術仕様による。）

液体窒素C E 製造設備の巡視点検業務

（1）点検業務

（2）異常時の措置

8. 提出書類 下記の書類を提出すること。

書類名	提出時期	部数	確認
総括責任者届	契約後速やかに	1 部	要
終了届	毎月末	1 部	要
日常点検記録表 (別紙 1 ～ 3)	点検の都度翌勤務日	各 1 部	要
従事者名簿	契約後速やかに	1 部	要
再委託承諾願 (QST 指定様式)	契約後速やかに ※下請負等がある場合に提出のこと。	1 式	要

(提出場所)

第 1 研究企画室 (高崎量子技術基盤研究所 研究推進室)

ただし、日常点検記録表 (別紙 1 ～ 2) については、先進ビーム利用施設部利用管理課

9. 検査条件

I 章 7 項及び II 章に示す作業完了後、I 章 8 項に定める提出書類の確認並びに仕様書に定めるところに従って業務が実施されたと QST が認めたときをもって検査合格とする。

10. 適用法規・規程等

- (1) 材料科学研究棟用高圧ガス製造施設 高圧ガス製造施設運転マニュアル
- (2) 研究組織高崎量子技術基盤研究所 研究推進室 高圧ガス製造マニュアル

11. その他

- (1) 受注者は、QST が量子科学技術の研究・開発を行う機関であり、高い技術力及び高い信頼性を社会的に求められていることを認識するとともに、QST の規程等を順守し、安全性に配慮しつつ業務を遂行しうる能力を有する者を従事させること。
- (2) 受注者は、本件業務を実施することにより取得したデータ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報を QST の施設外において、発表若しくは公開することはできない。ただし、あらかじめ書面により QST の承認を受けた場合はこの限りではない。
- (3) 受注者は、異常事態等が発生した場合、QST の指示に従い行動するものとする。

12. 総括責任者

受注者は本契約業務を履行するに当たり、受注者を代理して直接指揮命令する者（以下、「総括責任者」という。）及びその代理者を選任し、次の任務に当たらせるものとする。

- (1) 受注者の従事者の労務管理及び作業場での指揮命令
- (2) 本契約業務履行に関する QST との連絡及び調整
- (3) 従事者の規律秩序の保持並びにその他本契約業務の処理に関する事項

### 13. グリーン購入法の推進

- (1)本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。
- (2)本仕様に定める提出書類（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

### 14. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、QST と協議のうえ、その決定に従うものとする。

## II 技術仕様

### 1. 点検業務

型式番号 LNT-1 R310-768 及び LNT-2 R310-773 の二設備については、休日（土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）及びその他 QST が特に指定する日の1日3回の巡視点検を行い、日常点検記録表（別紙1、別紙2）に点検結果を記入し、QST の出勤日に記入済みの日常点検記録表（別紙1、別紙2）を先進ビーム利用施設部利用管理課に提出する。

型式番号 LT-3 については、4月1日から3月31日までの全日1日3回の巡視点検を行い、日常点検記録表（別紙3）に点検結果を記入し、QST の出勤日に記入済みの日常点検記録表（別紙3）を第1研究企画室（高崎量子技術基盤研究所 研究推進室）に提出する。

### 2. 異常時の措置

点検中に圧力の異常上昇、異常低下及び弁・継手類から液体窒素の漏れを見つけたときは、QST の定める緊急時連絡先に速やかに連絡すること。

（要求者）

部課（室）名：第1研究企画室

（高崎量子技術基盤研究所 研究推進室）

氏 名：潮田 浩之

利用管理課長	従事者

(別紙1)

日常点検記録表 (LNT-1)

令和 年 月

日付	時刻		C				E				供給ユニット				その他	点検者	備考
			貯槽圧力 M1	貯槽液面 N1	安全弁 の状態	ガス 漏洩	弁開閉 の状態	外観		安全弁 の状態	ガス 漏洩	弁開閉 の状態	外観		周囲の 状況		
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
( )	—	—	—	—													
	—	—	—	—													
	—	—	—	—													

※ 圧力と液面は、実数値を記入すること。(M1 : MPa N1 : mAq)

※ 異常あるいは不良箇所があった場合、状況、処置を備考欄に記入すること。

※ 正常な状態の時はVを記入すること。

利用管理課長	従事者

(別紙2)

日常点検記録表 (LNT-2)

令和 年 月

日付	時刻		C				E				供給ユニット				その他	点検者	備考
			貯槽圧力 M1	貯槽液面 N1	安全弁 の状態	ガス 漏洩	弁開閉 の状態	外観		安全弁 の状態	ガス 漏洩	弁開閉 の状態	外観		周囲の 状況		
( )																	
( )																	
( )																	
( )																	
( )																	
( )																	

※ 圧力と液面は、実数値を記入すること。(M1 : MPa N1 : mAq)  
 ※ 異常あるいは不良箇所があった場合、状況、処置を備考欄に記入すること。  
 ※ 正常な状態の時はVを記入すること。

令和      年      月

日常点検記録表（LT－3）

第1研究企画室/ 研究推進室長	部長	従事者

日付	時 刻		C		E				操作架台/減圧架台				その他	点検者	備 考
			貯槽圧力 MPa	貯槽液面 (x10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )	安全弁 の 状 態	ガ ス 漏 洩	弁 開 閉 の 状 態	外 観	安全弁 の 状 態	ガ ス 漏 洩	弁 開 閉 の 状 態	外 観	周囲の 状 況		
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
( )	—	—	—	—											
	—	—	—	—											
	—	—	—	—											

※ 圧力と液面は、実数値を記入すること。      ※ 異常あるいは不良箇所があった場合、状況、処置を備考欄に記入すること。      ※ 正常な状態の時はVを記入すること。